

平成29年度 学校自己評価表（計画段階）

福岡県立八幡中央高等学校長

印
(全日制課程)

学校運営計画(4月)		評価(3月)		
学校運営方針	校訓である「自律」「敬愛」「創造」の精神に基づき、志高く、自律心と思いやりの心を持つ、心身ともに健康でいきいきとした生徒を育成する。			
昨年度の成果と課題	29年度 重点目標			
創立100周年記念式典に向けた様々な行事は、生徒・職員が一丸となって成し遂げ、学校の活性化に繋がった。その結果、普通科の倍率は、ここ近年では最高の倍率を記録し、好感触を得ることができた。生活指導上の問題も少なく落ち着いており、この機を逃さずに学校を挙げて学習指導、生徒指導に取り組めば、今まで以上の発展も期待できる。 定着をした講師招聘による講演会や大学との連携、更には学校行事等の充実により本校独自のブランド化を推し進め、人間性豊かな志を高く持つ生徒の育成を目指す。また、生徒と教員、生徒同士、教員同士のコミュニケーションを深め、学校を一つのチームとして機能させ、現状の改善を目指す。	1 志の育成	・依存せず、他人や環境のせいにならず、自分で自分の人生の舵を執る。より以上を目指し、人の役に立ち、謙虚さを持った、自立型人間を育成する。		
	2 学力の向上	・授業規律を確立し、「わかる授業」「できる授業」等、生徒が積極的に参加できる充実した授業の実現に向けて改善を図る。		
	3 基本的な生活習慣の確立	・積極的な生徒指導による教育実践を推進し、自己指導能力を育成する。		
	4 豊かな人間性の育成	・コミュニケーション能力の育成や他者を尊重し、思いやる心を育て、人間関係構築力の向上を目標とし、いじめのない学校づくりを目指す。		
	5 学校力の向上	・校務分掌に部課長制を導入することにより、学校運営を組織として機能させるとともに、生徒会、部活動の活性化を図り、学校行事や日々の活動を通して生徒の課題解決能力を育成する。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
1 キャリア教育に基づく「志の育成」	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した計画的な進路指導を実践する。 生徒の状況把握に努め、積極的な思考力、コミュニケーション能力を養わせる。な指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会に貢献する人材に成長するための機会を積極的に設ける。 自分の生き方や在り方について考えさせる企画を実施する。 主体的に問題解決に取り組む機会を設ける。 コミュニケーション能力を高めるためのプログラムを実施する。 協同による活動性の高い授業づくりに取り組む。 様々な場面で自分の考えを言語化することで思考力を育成する。 		
2 基礎・基本の徹底による「学力の向上」	<ul style="list-style-type: none"> 充実した授業、魅力ある授業を展開し、学習意欲の高揚と学力の向上を図る。 学習習慣を確立させ、家庭学習（予習・復習）の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業始業時の「黙想・起立・礼」を徹底し、授業規律を確立する。 本校の生徒の実態に即した観点別評価規準を設定し、運用する。 授業評価アンケートなどを通して授業改善に努める。 1年生に対して学び直しを行い、学力の基礎固めを行う。 特進クラスや習熟度別授業を充実させ、効果的な運用を図る。 出席率99%以上、遅刻者数は前年度比8割以下を目標とする。 学習時間調査やスケジュール帳等を用いて自己管理能力を身に付けさせる。 課題・実力・定期考査等に対する取組意識を向上させる。 		
3 「基本的な生活習慣」の確立	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識を醸成し、自己指導能力を育成する。 特別活動や学校行事を通して、共感的な人間関係を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を中心に据えた積極的な生徒指導を推進する。 職員の班編制に従い、登下校指導・昼休み巡視を徹底する。 3本柱である挨拶励行・時間厳守・校則遵守に取り組む。 生徒一人ひとりに自己存在感を持たせられるよう行事の充実を図る。 生徒会執行部・事務局・専門委員会のリーダーシップを育成する。 部活動を充実させ、加入率80%以上の維持に努める。 		
4 豊かな「人権感覚」の育成	<ul style="list-style-type: none"> 人権が尊重される学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が大切にされる学習活動づくりに取り組む。 互いの良さや価値観を認め合える人間関係づくりに取り組む。 定期的なアンケート調査や日頃の生徒観察によっていじめの早期発見に努めるとともに、生徒の人権が最優先される雰囲気、環境づくりに取り組む。 		
5 学校組織力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 教育力の向上に向け、学校組織の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 部課長の指導の下、サービスの効率化を目指す。 職員研修の充実を図り、教員の資質を向上させる。 職員の働きやすい職場環境を実現するため、ハード・ソフト両面からの積極的なアプローチに取り組む。 		
6 学校内外への積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 中学校、保護者、地域、加えて在校生に向け、本校の教育活動を積極的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのデザイン変更、および発信する内容を再検討する。 オープンスクールの内容充実を図り、中学生に広くアピールする。 学内掲示板を有効利用し、在校生にも情報発信を広く行う。 		

